



CARATS

Collaborative Actions for Renovation of Air Traffic Systems



2020年度の主要な活動について



CARATS事務局
2020年 3月19日

2020年度の主要な活動(案)①

1. 施策の検討

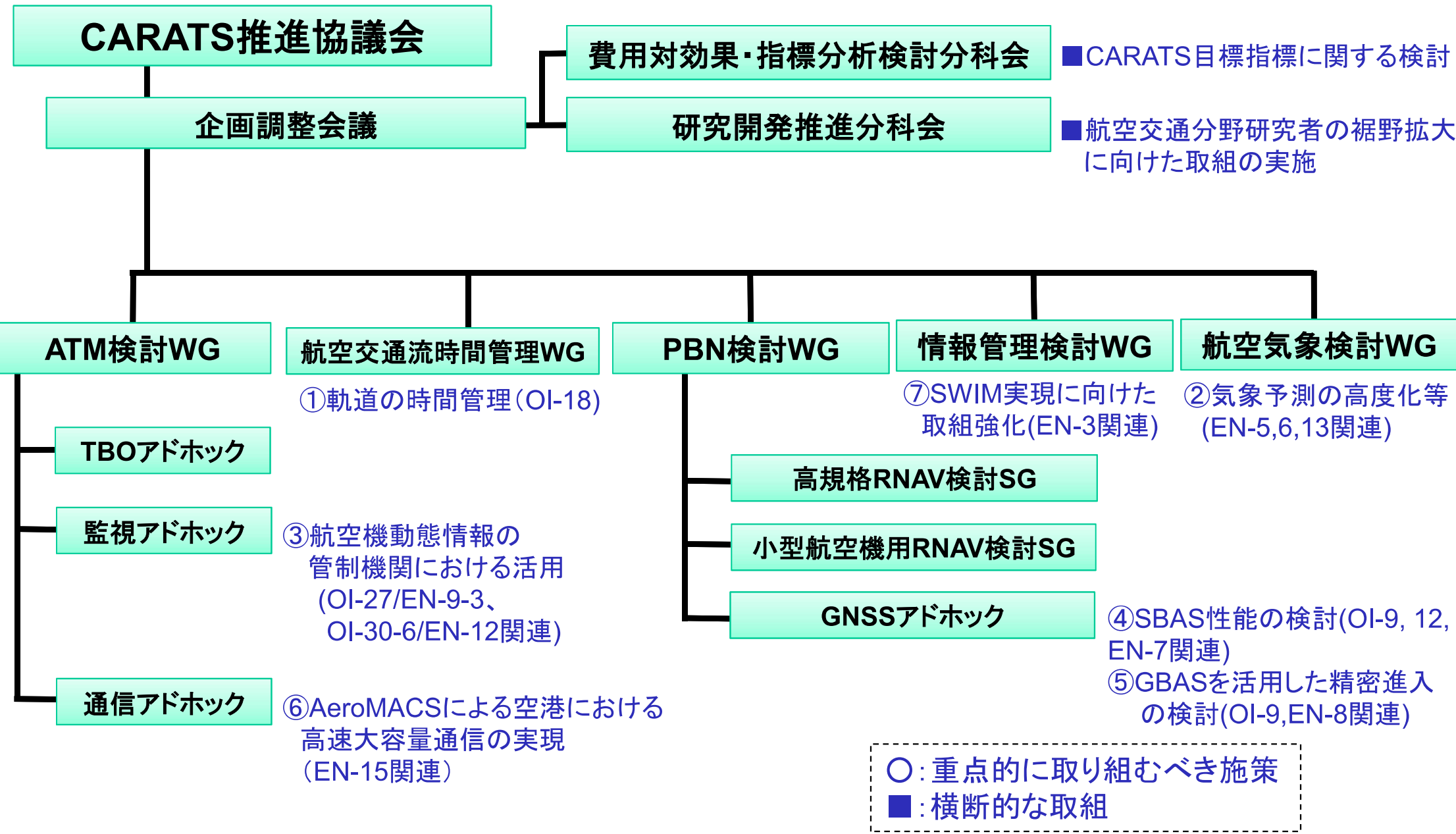
	件数	概要
1) 重点的に取り組むべき施策 (重点7施策) 【(2017.3開催)新規設定】	7	<ul style="list-style-type: none"> ①軌道の時間管理 <ul style="list-style-type: none"> ・初期的CFDT運用開始、複数地点CFDTの実現に向けた研究開発の実施 ②気象予測の高度化等 <ul style="list-style-type: none"> ・航空機観測データ(乱気流)の導入意思決定に向けた検討 ・定量的な制約条件への変換について研究開発の実施 ③航空機動態情報の管制機関における活用 <ul style="list-style-type: none"> ・「航空路管制間隔3NM」の管制運用方法及び監視性能要件についての検討 ④SBAS性能の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・LP/LPV展開計画、複数衛星による性能向上、RNP to LPV 施策実現検討 ⑤GBASを活用した精密進入の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・RNP to GLS導入に向けた国内関係基準の検討 ⑥AeroMACSによる空港における高速大容量通信の実現 <ul style="list-style-type: none"> ・将来の機上装備を見据え必要な調査、研究開発の実施 ⑦SWIM実現に向けた取組強化 <ul style="list-style-type: none"> ・空地間におけるSWIMに必要な調査、研究開発の実施
2) 2020年度意思決定(予定)施策	14	「GLS進入(CAT-Ⅱ、Ⅲ)」、等の導入検討【別添1】
3) 2020年度導入予定施策のフォローアップ ^o	10	空域の高度分離(西日本)等、2020年度導入予定施策【別添1】の進捗確認

2020年度の主要な活動(案)②

2. 横断的な取組

	概要
1) CARATS新ロードマップ施策検討	<ul style="list-style-type: none"> ・新ロードマップ施策の個票検討
2) CARATS目標指標に関する検討	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、悪化指標(利便性)について、下記の詳細分析を実施 <ul style="list-style-type: none"> ① Gate to Gateの運航時間について、分析結果の精査を進めるとともに、各フェーズ毎の算出結果についての要因分析を実施 ② これまで分析してきた出発遅延に加え、到着遅延に関する分析手法を検討 ③ これまで導入したCARATS施策の有無による目標指標の差異に関する分析手法を検討
3) 航空交通分野研究者の裾野拡大に向けた取組の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・「オープンデータ」提供拡大、「オープンデータ フォーラム」開催 ・「研究成果の広報・PR資料」のCARATS事務局HPサイトに掲載

2020年度の検討課題と体制



施策ID / 検討会議体	施策内容
<p> OI-9 / GNSSアドホック OI-10 / PBN WG OI-17 / TBOアドホック OI-22 / TBOアドホック OI-23-1 / ATM WG OI-23-2 / ATM WG OI-31 / 報管理検討WG </p>	<p><OI:7施策></p> <ul style="list-style-type: none"> ①精密かつ柔軟な出発及び到着・進入方式【GLS進入(CAT-II, III)】 ②高精度かつ時間軸を含むRNP【RNP2 (複線化)】【Advanced RNP】 ③軌道上の全ての地点においてコンフリクトのない軌道の生成 ④システムの支援によるリアルタイムな軌道修正 ⑤空港運用の効率化【AMAN(STEP2)】 ⑥空港CDM(A-CDM)【他空港への展開・高度化】 ⑦機上における情報の充実【航空情報】
<p> EN-1 / TBOアドホック EN-2 / 航空気象検討WG EN-4-1 / 航空気象検討WG EN-4-3 / 航空気象検討WG EN-5-1 / 航空気象検討WG EN-8 / GNSSアドホック </p>	<p><EN:7施策></p> <ul style="list-style-type: none"> ①②情報処理システムの高度化【運航前の軌道最適化(OI-17)、リアルタイムな軌道修正案提供(OI-22)】 ③データベース等情報基盤の構築【4D気象データベース】 ④気象観測情報の高度化/空港周辺及び空域の観測情報の統合化【4D気象データベースの利用】 ⑤気象観測情報の高度化/機上観測情報の活用【EDRの活用】 ⑥気象予測情報の高度化/高度化した観測情報の活用【EDRの活用】 ⑦衛星航法による(曲線)精密進入【CAT-III GBAS (GAST-D)】

施策ID / 検討会議体	施策内容
<p>OI-4 / ATM WG OI-9 / GNSSアドホック OI-18 / 航空交通流時間管理WG OI-28 / ATM WG OI-30-1 / ATM WG OI-30-6 / 監視アドホック</p>	<p><OI:6施策> ①空域の高度分割【フェーズ1(西日本空域分割)】 ②精密かつ柔軟な出発及び到着・進入方式【GLS進入(CAT- I)】 ③初期的CFDTによる時間管理 ④洋上管制間隔の短縮【ADS-C CDP】 ⑤空対空監視(ASAS)の活用/ATSA-ITP運航【ATSA-ITP】 ⑥航空機動態情報を活用した管制運用【管制支援情報としての活用】</p>
<p>EN-1 / ATM WG EN-7 / GNSSアドホック EN-8 / GNSSアドホック</p>	<p><EN:4施策> ①② データベース等情報基盤の構築【高精度の時間管理(OI-16,18)、航空機動態情報を活用した管制支援機能(OI-20,22)】 ③全飛行フェーズでの衛星航法サービスの提供【RAIM予測最適化、GNSS性能監視】 ④衛星航法による(曲線)精密進入【CAT- I GBAS (GAST-C)】</p>